

ぼくたちの家族 (2013)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 117分
初公開日 2014/05/24
公開情報 ファントム・フィルム
映倫 G

【キャッチコピー】
ある日告げられたお母さんの余命。
その日から、ぼくたちは奇跡を信じて動き出した――。

【解説】
「川の底からこんにちは」「舟を編む」の石井裕也監督が、早見和真の同名小説（オリジナル題『砂上のファンファーレ』）を映画化した感動の家族ドラマ。母親の余命1週間という突然の宣告をきっかけに、知らぬ間に蝕まれていた家族の実態が白日の下にさらされる一方、最大の危機に直面して初めて本当の強い絆で結ばれていくさまを丁寧な筆致で綴る。出演は両親役に長塚京三と原田美枝子、その2人の息子役に妻夫木聡と池松壮亮。
郊外の一軒家に暮らす自営業の若菜克明とその妻で専業主婦の玲子には2人の息子がいた。大手電機メーカーに勤める長男の浩介は、結婚を機に家を離れて暮らしている。一方、大学生の次男・俊平は、都内でひとり暮らしをし、親のすねをかじりながらも家族とは一定の距離を置いて接していた。そんなある日、母に脳腫瘍が見つかり、医者からわずか1週間という余命宣告を受けてしまう。軽口を叩き平静を装う俊平に対し、父も浩介もどうしていいか分からずうたえるばかり。おまけに、母のサラ金通いと父の事業失敗やローンで多額の借金を抱えていることも判明、一家がすでにニッチもサッチも行かないところまで追い込まれていたことに初めて気づく浩介だったが…。

【クレジット】
監督 石井裕也
製作 竹内力
小西啓介
狩野善則
堀義貴
木滝和幸
若山泰親
プロデューサー 永井拓郎
アソシエイトプロデューサー 鈴木俊明
原作 早見和真
脚本 石井裕也
撮影 藤澤順一
美術 栗山愛
衣裳 馬場恭子
編集 普嶋信一

『ぼくたちの
家族』（幻冬
舎文庫）

キャストینگ	おおずさわこ	
音楽	渡邊 崇	
照明	金沢 正夫	
録音	小松 将人	
ヘアメイク	田中 マリ子	
装飾	石渡 由美	
スクリプター	村松 愛香	
VFXスーパーバイザー	西尾 健太郎	
制作担当	榊田 茂樹	
助監督	杉田 満	
出演	妻夫 木聡	若菜 浩介
	原田 美枝子	若菜 玲子
	池松 壮亮	Sosuke Ikematsu 若菜 俊平
	長塚 京三	若菜 克明
	黒川 芽以	
	ユースケ・サンタマリア	Yusuke Santamaria
	鶴見 辰吾	
	板谷 由夏	
	市川 実日子	